

## 刊 夕 目 十 二

九州地方旅行中なりし東拓副總裁  
田卯太郎氏は既報の如く十九日  
九時南大門署歸來せり。林田村  
事外東拓社員多數の出迎あり。ヤ

●野田副總裁

大園監督局長歸東  
瀨及び支那に出張中なりし沙

十九日午後六時三十分臨波通驛  
北洞の同子傳郎に遣はし弔詞を餞

九州地方旅行中なりし東拓副總裁  
田卯太郎氏は既報の如く十九日  
九時南大門署歸來せり。林田村  
事外東拓社員多數の出迎あり。ヤ

●野田副總裁

大園監督局長歸東  
瀨及び支那に出張中なりし沙

種四百枚在來種四百六十枚飼育  
九百七十五戸にて收穫量改良

校に來種九  
 二十五戸  
 を知るに山  
 石有一斗在  
 理想せられ  
 此し貨收高  
 に葉充充分  
 に至つて葉  
 全部の土産を見る可  
 順調給榮等申分な  
 回藏收換想額二萬三  
 大豐作なりと因に同隣  
 なる藪市場は成川郡野  
 堀江東郡間波等なり

●八回移民計畫  
 奥すき東洋拓殖會

議を召集する國防  
金融活況

出納廻轉期中各地共  
 並に取引相拂を毎日  
 なれり該商況は  
 病に連日掲載す  
 案内 鴨緑江の水  
 二日水先案内規則  
 の管事務を民衆  
 七と管事務を民衆  
 品評會確定  
 し慶北各郡聯

大邱  
 下旬通水式  
 降雨の爲め多  
 七月五日頃  
 品評會確定  
 し慶北各郡聯

東菜 高麗の田植

禪の姿の白衣哉  
すがた びやくしかな





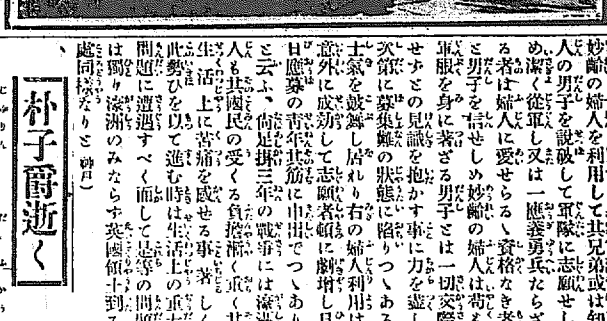
總數約一萬點——實用品多。

●奉天婦人刺客の詳報

張將軍危機一髮に免る――美人就

婦人を利用して士氣を鼓舞

此等船舶は、海峽に於て航行し、尤も汽船に  
船内は歐洲最近の状況を語つて曰く、  
過剰な規模の建築をなせるの謬誤も  
は既に大陸に蔓延するものあり、餘り  
大規模のものもあり、其割合せて總  
計したれど、此上は更に他の苛情



需木の一大不空

子爵 金九植氏談  
日清戦争の最を聞くは天命とは  
得なかり、予と子爵との關係は  
の朝廷に於ける同僚の關係  
の敵多難を  
の故に其子なる子爵  
は所謂世祖世孫の特

金九種氏認

事になる。と分つてゐたら、どんな無理をしても會ひに往くのだつた。いふのも今となつては愚痴に過ぎない、危篤と聞いて十九日の午後五時に見歸つた時は氣息奄々としゝて手を取つて見ると脈搏は殆んど断ち斷へになつてゐてその

子爵 趙重順氏

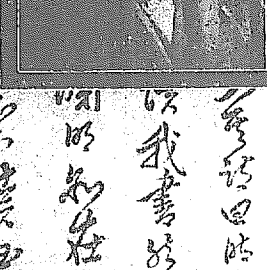
▲子爵危篤の報  
 前日、子爵から是非一度會つて話  
 たい事があるから来てくれと言つ  
 寄越したのであつたが、既に私とそ

鍾路通り早朝の大喧

十九日午前八時四十分、東京城  
遊樂學校の一二年生徒が列をな  
し、路三丁目の右側を東大門方面  
へ進行中、折衝同所附近道路修  
繕工事の進行中、荷馬車挽大工  
土砂を運搬中なる荷馬車挽大工  
佐郎(三)は電線、路脇に土砂を

慶北英陽郡首丘發里洞地内

東洞地方（近來猪群出沒し  
死にし麥馬鈴薯豆等を食害し  
て）



古入二作

全身に廻つてゐる冷氣は電氣に關  
 たやうに感じたが額にはまだ温氣  
 あつたので和子嬢と呼んでゐるに  
 微かに答へて言葉の無かつたのに  
 暗然たさざるを得なかつた次第で  
 子爵は少少の頃から朝顔の名を  
 して又篠村中の經營者として  
 實に知られ繁かに土太夫の遺風

▲**嚴父林洪壽氏**に經學の

あ  
島  
村  
明  
詩  
を  
受  
け  
長  
じ  
て  
か  
ら  
は  
前  
に  
も  
言  
つ  
た  
金  
允  
植  
子  
に  
激  
戦  
を  
學  
ん  
だ  
の  
で  
國  
事  
務  
官  
も  
言  
つ  
て  
居  
ら  
れ  
た  
通  
り  
潜  
伏  
し  
て  
偵  
察  
機  
動  
も  
す  
れ  
ば  
諜  
謀  
術  
策  
常  
と  
し  
て  
ゐ  
た  
當  
時  
の  
官  
界  
に  
あ  
つ  
て  
數  
十  
年  
級  
の  
人  
物  
で  
あ  
つ  
た  
。官  
界  
に  
あ  
つ  
て  
最  
大  
の  
權  
威  
を  
握  
る  
機  
關  
主  
義  
に  
對  
て  
身  
を  
處  
す  
る  
事  
は  
嚴  
正  
に  
對  
て  
他  
を  
非  
へ  
て  
自  
己  
の  
安  
全  
を  
圖  
る  
が  
如  
き  
事  
は  
更  
に  
可  
成  
業  
に  
當  
つ  
て  
も  
我  
を  
激  
な  
當  
局

は何にか逃走したり射殺した

●小兒を傷く 京城加

---

東京大相撲割引  
 本發御持参の方には對しては一名限らず  
 三十錢の木戸を二十錢に割引致候  
 京城日報

---

行興

1000

鎮海の大相撲 二十一日よ

[illegible]

支度部屋之言

の腰巻一ツを胸につけたまへ、天

死刑しけい囚いの護送ごそう 東萊とうらい層そう日に別べつ 野郎やろうしつかり

是過日釜山地方法院に於て死刑の  
 宣告を受けた者が同人等は是に服せ  
 大邱覆審法院に控訴したる爲去十  
 何れも大邱監獄に移送されたり


日本麥酒抽籤會 大日本麥  
 食事時の混雜が

扇風器  
 風とぞ  
 勝手な  
 なる

又で、こはかり天

の風と團扇の  
うらが快よいかなど  
事を研究して  
極太の腰を隠取もある  
一としきり過ぎ

その日の相手  
しは等しい


 ち はう じゅう せう  
**地方巡業の支**  
 度部屋  
 開張業は十一時からギョウ 部屋  
 ハリ 天下御免の真裸體  
 鮮巡業に来るぞ  
 何れも大喜びで  
 早く京城  
 といふ  
 發してゐる  
 角力部

麥酒を酌み交す

ある 何時でも持てる  
 へ往きたい  
 の間も此の點から  
 ののである  
 取進んで自分の取組

△御安心下さい  
△御心下さい  
△御カヤない  
△御力に付  
たものば取り  
ては取らざり

か

や

電話二六一

品買服年  
優與て言儀  
直城明治町  
二月月

唐川吳服店

来る廿一日より景品進呈

洋食	一品	金十五銭	うなぎ蒲焼	一人	金三十銭		
うなぎ	井	一人	金十五銭	親子	井	同	金十五銭
天ぷら	井	同	金十五銭	どじょう鍋	同	金十五銭	
どじょう汁	同	金五銭	御酒	一本	金十銭		

其他出前は電話二九一五番多少に不拘御川命被下は早速持参仕候  
尚廿一日より向ふ三日間は明業披露として御客席方に景品進呈仕候  
警務總監部通達町より入る三軒目

和洋料理 玉突 みやこ

夏物頭飾品  
必多り地  
京阪本町二丁目

○日の丸小間物庄  
長巻一九二〇  
口巻二九四三  
六月廿一日より廿五日まで  
景品大賣出し

This image shows a vertical strip of a document page. On the left side, there is a vertical line of text, which appears to be a page number or a section header. The rest of the page is filled with a grid pattern, likely representing a table or a form. The text is mostly illegible due to the low resolution and the vertical orientation of the strip.



原 因 又

BT-101A

於る引鏡

何人でも一度御試飲あれば  
必ず...一生涯御常用になるは  
美味 蜂印香露葡萄酒  
滋養 凡そ  
「の生命と眞價なりー」

常用者の忘るべからざる欣快は  
毎朝の一杯は...精神を爽にし元氣を増す  
毎晩の一杯は...疲勞を癒め睡眠を助く  
斯くしてますます健康の人となる!!

富士の白雪  
朝日でこける  
いやかな匂も  
金鷄香水  
ツル香水  
できる

人力空氣入タイヤ (燈臺印)  
自轉車 マツキンレータイヤ (アメA號)  
マツキンレーゴム製造所 京城一手販賣  
京城黃金町二丁目百廿番地 (水標橋通入口)  
各國自轉車 附屬品販賣 及修繕一式  
茨木自轉車商店  
電話二九二七番

ノロゾエ  
グワパ  
男女老幼を問はず凡  
期の皮膚衛生を重んず  
る人は必ず此粉米を  
御使用あれ  
其の粉米は皮膚の機  
能を助け皮膚のいた  
れ汗疹を癒し且つ潤  
防する効あり  
三橋 松本 松原 小間 其他 松本 松原  
店 莊品 物化 小間 其他 松本 松原  
輪ノロゾエ  
舖本ーリフ・ノロゾエ  
内の丸 部品粧化店商原藤 東京  
一仲島堂區北市阪大 店支

特價發賣以來其完全無缺なる活動家の携帶品として至便なる點に於  
ける處最高評を博し豫期以上の好成績を収たれば聊か謝意を表する  
爲跡五千本を限り特價六十四錢を以て發賣仕候條此の際引  
續き御用命ありたし 新案特許三六二九八號 特價六十四錢 スクリップ金五錢 替銀金八錢  
萬年毛筆 京城日報社代理部



浪上義三郎速演

[illegible]

は生命の恩人な禮は中へ出来る譯に  
ものではございません、就きま  
ては且那樣、私は藥種屋に奉公して  
居りますので藥の割合は一通り心得  
て居ります。私の家の秘法といなし  
ます一劑、之れは昔太田様へ送ら  
げた藥ださうで戰場で疾苦を凌ぐ丸  
藥でございます、肉桂を代にしまし  
た調劑丸と申しますもの之を且那樣  
へお傳へ申しますホンの印し  
と右の伊三郎が懷中から紙を出し  
て調合法を認めて武藏の前へ出し  
た、武藏先生大に喜んで、武  
は何よりの禮物、武士に取つては  
秘藥である」といって受納めまし  
た、梅川の勘定は又兵衛が済して  
は往々から、町人の馳走になる譯  
を二三反買取つて總の代りにして右  
の反物は伊三郎に遣はしたが、此後  
三郎から貰つた調劑丸といふ藥の調  
合街が役だ立つて、後年宮本先生  
草の合戦の時陣中に於て右の藥を製  
して施しました、寒疾或は悪い病を  
凌ぐ功がある經川の調劑丸といふ、  
後世までも傳はります、さて武藏は器  
なものであります、

濟まん 又「什麼」だしまして實は  
且「那樣」のお蔭で五兩只儲けをしまし  
たので今頃にはさぞ三人共慰めて居た  
らう。其のうちに又「何」かある。其の  
中に「武藏」になりまして又兵衛  
が案内して、梅川といふ一寸した小  
料理屋へつて武藏先生に一口勧め  
る。武藏も辭退しかねて盃を上げて  
二三口過ぎました。又兵衛伊三  
郎の二人が代る／＼酒を勧める。武  
藏先生も快い心地になつて、武  
藏も悠／＼と馳走になつては  
や。南米會町朝市場通仁濟病院跡  
内科外科  
花柳病科  
入院隨意 電話二九三四番  
上野醫院

電話 一八五二(階上)  
二六三七(階下) **黃金館**

[illegible]

上旬日誌  
 電報八三三  
 大正館  
 御成座  
 全三場  
 全六場  
 全七場  
 全八場  
 全九場  
 全十場  
 全十一場  
 全十二場  
 全十三場  
 全十四場  
 全十五場  
 全十六場  
 全十七場  
 全十八場  
 全十九場  
 全二十場  
 全二十一場  
 全二十二場  
 全二十三場  
 全二十四場  
 全二十五場  
 全二十六場  
 全二十七場  
 全二十八場  
 全二十九場  
 全三十場  
 全三十一場  
 全三十二場  
 全三十三場  
 全三十四場  
 全三十五場  
 全三十六場  
 全三十七場  
 全三十八場  
 全三十九場  
 全四十場  
 全四十一場  
 全四十二場  
 全四十三場  
 全四十四場  
 全四十五場  
 全四十六場  
 全四十七場  
 全四十八場  
 全四十九場  
 全五十場  
 全五十一場  
 全五十二場  
 全五十三場  
 全五十四場  
 全五十五場  
 全五十六場  
 全五十七場  
 全五十八場  
 全五十九場  
 全六十場  
 全六十一場  
 全六十二場  
 全六十三場  
 全六十四場  
 全六十五場  
 全六十六場  
 全六十七場  
 全六十八場  
 全六十九場  
 全七十場  
 全七十一場  
 全七十二場  
 全七十三場  
 全七十四場  
 全七十五場  
 全七十六場  
 全七十七場  
 全七十八場  
 全七十九場  
 全八十場  
 全八十一場  
 全八十二場  
 全八十三場  
 全八十四場  
 全八十五場  
 全八十六場  
 全八十七場  
 全八十八場  
 全八十九場  
 全九十場  
 全九十一場  
 全九十二場  
 全九十三場  
 全九十四場  
 全九十五場  
 全九十六場  
 全九十七場  
 全九十八場  
 全九十九場  
 全一百場

[illegible]

自宅にて人知れず安全秘密に治癒す  
良藥あり只一劑を試よ切手三錢送れ  
其良藥と自宅療法の詳細を報ず

  
 屋問物履  
 師屋田簡井  
**古本路大**  
 郎太久北筋堂津市阪大  
 一四股大振 番九十百東電  
 可并送御求場相第次報一街  
 月毎に計合進嘉物履阪大  
 美敢可納特 毎送宛一

名古屋市南のじや町 武藏龜吉

今東京で大評判の元染液色濃き顔赤き顔日やケおしろいのやケ・アレを好き多きをコマカに眞に色白く美人美男子となる全  
開物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御附送あれば送品す  
送料内地八割済 清水路電報掛 11 番  
東京神田和泉屋 全

エンパイヤー号自轉車  
 麗々高貴の御買上を蒙りたる光榮ある………最高級車  
 御大典記念 特製良品  
 エンパイヤー號自轉車  
 朝鮮京城明治町二丁目  
 瀧川銃砲自轉車店  
 品質優良二大製品  
 純英國製  
 鐘旭タイヤー  
 日本製優等品  
 カクタイタイヤー  
 電話三〇三番  
 是石炭代用として効力偉大且經濟的を賞讃せしむ

新科学の進歩が  
み出した理想の

クラブ歯磨は

歯痛を  
未だに  
防ぐ

本誌全欄の利益を商店に還元  
国内・海外でシン・知注意を

磨みがき.....クラブ 齒磨はみがきは

化學がく的てきに

齒はの珐瑯ほうろう質しつを保護ほごし  
口臭こうしゅう口熱こうねつを去さり  
齒痛しつうを未發みはつに防ふせぎ  
精神せいしんを爽快そうくわいならしむ



銀行  
 電話 五八番 二九四番  
 振替 貯金 京城 一三番  
 並朝鮮樞要の地に有之候  
 御取扱申候



佛軍防禦戰振はす

● 阪谷男爵の談片

● 林長民の馮國璋説得

○定例内閣會議

日置公使は十九日午後三時各國公使と共に大總統に初謁見せり（特電）

● 東園子爵以下叙位

正三位勳二等子爵 東園基  
叙從二位  
從四位勳三等 坂 仲  
叙正四位(特旨)

位階國祿の御沙汰ありたり（東京時  
正四位勳 一等子爵 朴 齋  
叙從三位（特旨）

●老樹保護の注意

政務總監より各道へ通

山縣政務總監は二十日附を以て各


長官に對し通牒したるが其趣意

何れも約四千百貫を生産せり、之に  
大で多きは平安北道の約三千貫、江  
昨午府に於て發表したるも其後中  
の姿となり居たる下水溝の設計に  
て總督府に於て編成する大正六年

内工業として行ふもの、平安北道に於て十九戸あるも、其の産絲額は極めて少く、主として羊毛の産出に當つて居る。羊毛の産出は、金北益山郡羅若里の開墾

て一部朝鮮内に於て消費せらるゝも、其の大部分は内地に移出し、或は横濱を経て米國に輸出せらる。

なるのみならず、**増設の有利なるを認め、作付別を**  
 増設せしもの数からざりしを以て本  
 年は**總反別僅に五萬圓歩以上**に達せ



京元線

關

本年の官吏藝術は廣慶海及び朱安の  
兩國用を合し、総七千萬斤の豫定なる  
が廣慶海は陸開新く今日までの成績  
を以て、  
價格日に低落す  
場よりも開港場に鐵路の通じたる時  
自然に鐵路通路を形成する體なるを  
元山驛に税關を設け同地を保税地と  
せざる以上同驛と元山驛税關本  
元山驛税關本

然るに關州及び青島方面に於ては本年の採掘成績頗る良好にして、鯨肉は必らず新嘉州税關にて入内  
五月末までの輸出入は一切を合し、手続をなした元山税關を経て各  
概に向け續々輸入あり、本年一月以降

方底止する所、知らざるもの、知し  
 山及び仁川、其他各開港地、由元、

日八十五圓なりとす

● 鮮銀券發行高 六月十一日

二十一日午前、見實、變態、非常、午後同上▲  
二十二日兒島技師、頭、午後同上▲同二十三  
日前、外、頭、午後、技、員、實、驗、報、告、同二十四  
日前、訓、示、後、事、務、打、合、等、に、て、兒、島、技、師、頭、

監部に開阪東衛生課長統戒の下に  
各係職員並に各技術員出席諮問事

關稅通路

現今は元山より仁川迄は内國貨物として送り更に仁川にて外國貨物の手続きをなすの不便ありしも今後は元山にて直ちに外國貨物として發送し其反對路の經山方亦同じ(三)露西

の不利ありしも、今後は上陸税關に於て包裝され通過し得、以上の外露す兩國より京元線通過の上貨物を發送せんとする時の如き手數の煩累を省

く事多きが更に各税關に就て見れば  
釜山仁川新義州各關の出入數字は昔  
より減少し元山税關取扱高に於て  
増加するならん

其他に關する學事上の打合を爲すに

朴子爵を悼む  
 蘇君すくみ子傳しでん神純氏しんじゅんし逝く  
 嗚呼ああ悲かな  
 蘭南言北話  
 米國の選舉界は  
 永商代

明治三十九年に組織したる新内閣  
實に一年有半を保ちたる、朝  
史上稀有の長命内閣なりしに  
イラン氏を援助する事になつた  
▲

一方の重鎮として、頭角の隆々たるしを知るに充分なるべし、而も子に、單に政治家たるのみならず、儒界の巨擘者にして、晩年閑居しても、尚ほ經濟學大博士として突躍する。即ち共和黨は攻撃軍で民主黨は防禦軍であるかの形勢である民主防禦軍は却容易ではあるまい。前回の選挙ではウィルソン氏は六

付て支那公使として燕京に在る  
 日、海、韓の三國親和を期し  
 日本公使と密結んで、外交場裡  
 活躍したるは、皆人の知る所た  
 り。子爵が一代の大活動家として知ら  
 れてゐたのは、却て百四十餘萬票の少  
 數で落選して居る譯だ。▲其處で前民  
 共行政黨に行つて居たとすればル氏  
 は七百六十萬四千四百六十三票と  
 なつてゐる氏は却て百四十餘萬票の少

其の手腕と相俟つて、朝鮮政治界に  
其の力を發するに至れり。更に  
あるからまだ「何うとも云へぬ」  
巴里の小组原決定よりも米國の政戦  
策は樂觀を許さぬ▲が、奇策機權  
黨は樂觀を許さぬ▲

始一貫、日鳥の親善を圖り、併合を謀る。然しても其の動向によつて、子爵の手に列せられたるに見るも、子爵の手に人を經するに難からざるを。丁度十一月、突如として天下の秋を知る人が必ず一人は出来る譯だ。

事務員入川本人直接來談  
曜日目の丸旅館性相學會  
三商品陳列館通電一三七  
852  
大和町一丁目電話二三三番川  
達菜町一丁目電話二三三番川  
與の十間約五百坪地料  
相相談に應ず料低廉便宜分  
351

[illegible]

購買入用  
 計五十六萬の者  
 此宅の地  
 方は電話  
 856  
 右大正五年六月十九日登記  
 京城地方法院

[illegible]

風は萬病の基  
カゼ・ヒリン  
を召せ  
343  
○旭商會  
電話取次 八二九番

門廣橋自動車組  
 目廣橋自動車組  
 所居の儘讓る  
 店讓る京城目  
 場所居の儘讓る  
 店讓る京城目

姓名在社

○別當 無名店藏賣主。

緒年金類立替吉田屋 347  
京坂本町二京城銀行横小路







[illegible]